

Environmental Report 2012



環境報告書 2012

札幌大同印刷株式会社



札幌大同印刷株式会社
環境報告書2012

[お問い合わせ先]

札幌大同印刷株式会社 環境管理事務局
〒004-0003 札幌市厚別区厚別東3条2丁目
TEL 011-897-9711 FAX 011-897-9715
<http://www.dioce.co.jp>

2013年6月発行

私たち は 表現・言論・出版の自由を守り

印刷文化を通して 健全な社会の発展に貢献する

私たち は お客様の志向を十分に認識し喜ばれ 信頼される企業を創造する

私たち は 職業人としての誇りと自覚をもって 自己の能力を研鑽し發揮するよう努力する

私たち は 互いの人間性を尊重し 幸福の実現を目指す

制 定 1991年 1月 1日

トップコメント



札幌大同印刷株式会社
代表取締役社長

本 間 翼

この度は札幌大同印刷「環境報告書2011」をご覧いただき、誠にありがとうございます。

「環境報告書」は、2003年より従業員の環境教育を目的として発行、2005年より私たちの取り組みを皆さまにも知っていたらしく公表してから今年で10冊目となりました。

「環境報告書」は、札幌大同印刷の環境への取り組みをただ記録するためだけ

会社概要

- 商号 札幌大同印刷株式会社
- 創業 1954年8月10日（昭和29年）
- 代表取締役社長 本間 翼（ほんまた すく）

- 所在地
[本社 / 制作室・製造部]
〒004-0003
札幌市厚別区厚別東3条2丁目1番1号
電話 011-897-9711（代表）
- [豊平営業所 / 営業本部・企画室]
〒062-0905
札幌市豊平区豊平5条5丁目2番25号
電話 011-823-6115（代表）

- 資本金 56,950,000円
- 従業員数 90名（2013年6月現在）

- 事業概要
[商業印刷]

- パンフレット／リーフレット／カタログ／チラシ／ポスター／メニュー／会社案内／社内報／報告書／雑誌／カレンダー 等

- [デジタル関連]
Webデザイン／システム開発／データベース構築／プログラミング 等

- [その他]
PR企画立案／マーケティング／ノベルティ／グッズ／DVD制作／屋内外広告看板／イベント事業の企画運営 等

ではなく、「見直す」「続ける」そして「生み出す」きっかけづくりとして、次なる一步につなげていきたいという考え方とともに、札幌大同印刷と皆さまをつなげるコミュニケーションツールのひとつとして、今後も情報の開示を図って参りたいと考えております。2015年8月には、札幌大同印刷が創立から満60年を迎えますが、経営理念にもありますように、印刷文化を通して健全な社会の発展に貢献出来るよう取り組み、私たちの本業である「印刷（ものづくり）へのこだわり」と「新しい価値を創造し提供する」という想いを大切にし、社会に必要とされる企業となるべく、更なる努力を続けて参ります。

報告書概要

■ 環境報告書発行の目的

「環境報告書2012」は、札幌大同印刷の環境保全活動の情報開示を図るツールだけではなく、札幌大同印刷を支えて頂く多くのステークホルダーとの対話をを行うための重要なツールと考えています。尚、限られた誌面の中で、活動のすべてを掲載することは出来ませんが、札幌大同印刷が取り組む等身大の活動報告としてご理解を頂ければ幸いです。

■ 対象期間

2012年1月1日～12月31日
2012年度の活動を中心としましたが、一部の項目については過去及び現在継続中の物も含まれております。

■ 対象組織

札幌大同印刷株式会社 全事業所

■ 対象範囲

札幌大同印刷株式会社における環境保全活動や実績を中心に掲載しています。

■ 本報告書の仕様

本報告書、印刷通し枚数を減らすなど環境への負荷軽減を図るため、小ロットに適したオンデマンド印刷を採用。また、事業活動によって余った紙を使用（リユース＝廃棄物の発生抑制）しています。

環境方針

■ 理念

私たち は 健全で美しい地球環境の保全を最重要課題のひとつととらえ、印刷及び印刷関連事業、マルチメディア事業の推進と地球環境保全との調和に努め、地球に優しい事業活動を継続して実践し、豊かな自然環境を将来世代へ引き継ぎ、北海道の企業として快適な地域社会の実現に貢献します。

■ 基本方針

1. 事業活動全般によって生じる環境への影響を認識し、環境目的・目標を定め、環境汚染の予防を含め、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
2. 事業活動全般にかかる環境関連の法律、規制、協定等を順守するとともに、自主基準を定めて管理し、環境リスクを回避します。
3. 環境保全のため、次の項目を環境管理における重点テーマとして取り組みます。
 - 1) 省資源・省エネルギーの推進
 - 2) 車両による排出ガスの管理と削減
 - 3) 製造過程で使用する有機溶剤などの管理と削減
 - 4) 廃棄物の管理と削減、リサイクル化
 - 5) 製品事故の削減
 - 6) 環境に配慮した資材、企画の提案とお客様サポート
 - 7) 環境情報の公開
 - 8) 地域社会への貢献
4. 環境方針を達成するため環境目的・目標を設定し、全事業所・全従業員をあげて環境管理を推進します。
5. 環境方針は札幌大同印刷で働く、または組織のために働くすべての人々に周知し、環境保全の意識向上に努めます。また、利害関係者への周知により環境マネジメントシステムの理解と協力を要請すると共に一般の人にも開示し、入手可能とします。

制 定 2003年 3月 1日
改 訂 2009年 3月 1日

環境目的・目標と事業活動による環境負荷データ

事業活動によって生み出されるさまざまな環境データを基に環境への目的・目標を定め、目的・目標の達成状況を確認するため、環境活動データの集計・把握しています。

環境目的・目標及び実績評価

※自己評価 ● 目標に対し実績達成 ● 目標に対し実績未達成

重点テーマ	環境保全活動目標	2011年度実績	評価
省資源・省エネルギーの推進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電力使用量の削減 ■ コピー用紙の削減 ■ 印刷予備紙率13.0%維持 	クールビズの実施 前年度比4.87%増加 前年度比27.23%削減 印刷予備紙率13.04% 前年度比0.07%増加	● ● ●
車両排出ガスの削減	■ エコドライブの推進	エコドライブの徹底・低公害車の導入を実施	●
有機溶剤等の削減	■ 挥発性有機化合物(VOC)の削減	環境対応品調査、検証を実施したが代替品の該当は無かった	●
循環型社会形成の推進	■ 廃棄物の削減	リサイクル化の推進を実施 前年度比13.31%増加	●
製品事故の削減	■ 製品事故の削減 ※チャレンジゼロ	工程毎チェックリストの掲示等実施 前年度比14件増加	●
環境パートナーシップの推進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大同特色インキの提案率35.0% ■ 環境にやさしい紙の提案 ■ 環境配慮型製品の提案 	受注提案率65.3% 前年度比7.5%増加 提案の継続を実施（実績：受注提案率3.1%） 提案の継続を実施	● ● ●
環境コミュニケーションの推進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境情報の公開 ■ 地域社会貢献 	環境報告書の発行 ホームページでの情報公開 省エネパネル展・ごみ拾いなどに参加協力	● ●

環境データ



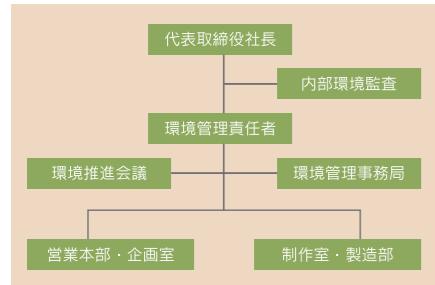
環境マネジメントおよび環境保全活動の概要

環境目的・目標を達成するために事業活動の様々な場面において施策に取り組み、環境保全活動の継続的な維持・改善・向上に努めています。

環境保全推進体制

札幌大同印刷は、効果的な環境マネジメントの運営を推進するためにPDCAサイクルを継続的に行い、代表取締役社長及び環境管理責任者のもと、役割と権限を明確にし、環境管理事務局・各事業所の環境保全担当者と連携を図り、環境活動を円滑に行ってています。

■ 推進体制



環境教育

環境問題の基礎知識や継続的な改善を図るため、全従業員を対象に教育を実施しています。また、省エネルギーへの取り組み方などをパネルやポスターで掲示し、関連する冊子を配布するなどの啓発を行っています。



法令等の順守

札幌大同印刷の事業活動、製品及びサービスにおいて、環境側面に適応される環境関連法規制や地域の条例・協定などを順守することはもとより、要求される規制の基準に対してより厳しい自主基準を設け、環境汚染の未然防止に努めています。

2012年度において、環境関連法規制等に関する違反や指摘、指導などはありませんでした。

■ 関連する主な環境法規制

水質汚濁防止法／下水道法／労働安全衛生法／PRTR法／グリーン購入法／大気汚染防止法／消防法／札幌市火災条例／廃棄物の処理及び清掃に関する法律／札幌市生活環境に関する条例／北海道公害防止条例／札幌市廃棄物の減量及び処理に関する条例 など

車両排出ガスの削減

■ エコドライブの推進

アイドリングストップや冬期暖機運転の短縮、法定速度遵守の徹底など、エコドライブに関する知識の啓発および実践に取り組むとともに、燃費の向上と排出ガスに含まれる窒素酸化物や、二酸化炭素などの排出量が従来の自動車に比べて少ない低排出ガス基準レベル認定自動車を積極的に選択して導入しています。



有機溶剤等の削減

■ 握発性有機化合物(VOC)の削減

オフセット印刷機に付属するブランケット胴洗浄用溶剤に含まれるトルエンは、揮発性有機化合物(VOC)として札幌市条例の規制対象となることから、環境対応品への転換を図るため、代替品の検証に取り組みました。2012年度においても代替品となる環境対応品はありませんでした。

また、従業員の安全と健康を守るために労働安全衛生法有機溶剤中毒予防規則に則り、有機溶剤等の健康診断を年2回実施しています。

製品事故の削減

■ 製品事故の削減 ※チレンジゼロ

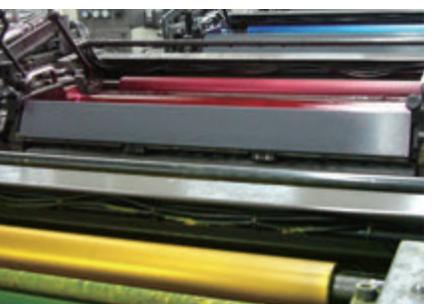
印刷の代表的な製品事故として誤字・脱字・色間違い・汚れ・色ムラなどが挙げられますが、製品事故の発生を未然に防ぐために作業チェックリストを作成するなど製品事故の予防対策を継続的に行いましたが、前年比で14件と大幅に増加していました。見本の添付忘れや在庫の紛失などといった事故原因から、5S活動の推進を図り、製品事故が発生した際には速やかに製品事故原因の追及と対策を講じ、全従業員に製品事故の情報を共有し、改善策を検討し、再発防止に努めています。

環境パートナーシップの推進

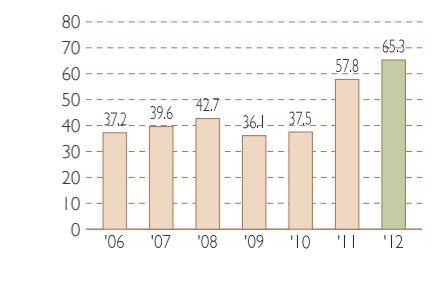
■ 環境に配慮した印刷物の提案 (大同特色インキ・印刷用紙など)

札幌大同印刷は、無駄になるインキを極力減らすため使用頻度の高い特色インキを選定し、大同特色インキとして見本帳を用意しております。お客様に特色を使用する場合に、出来るだけ見本帳の中からお選び頂く提案を行った結果、受注提案率が前年度比で7.5%増加しました。

また、ライフサイクルアセスメント(LCA)の観点から、二酸化炭素の削減および廃棄物の増加などを抑制する再生紙。森林の生態系を守るために管理された森林から産出され森林認証を受けた紙。森林の健全な生育を促すために木の一部を伐採した木材を配合した間伐材紙。震災復興支援型カーボンオフセット用紙など環境に配慮した紙。風や太陽で発電された電力を印刷時に購入する「グリーン電力証書」。木質バイオマス燃料を使用することによって削減された二酸化炭素を印刷時に排出される二酸化炭素とオフセットする「みんなでカーボンオフセット」制度など、環境に配慮した提案をお客さまに行っています。



■ 大同特色インキの提案受注率 (%)



省資源・省エネルギーの推進

■ 電力使用量の削減

印刷工程のデジタル化(CTP)を推進することで従来の製版フィルムを撤廃。コンピューターから直接印刷用アルミ版にデータを出し、出力・刷版・印刷までの工程作業時間を大幅に短縮しています。オフィス活動においては、クールビズの実施や照明未使用箇所の部分消灯、冷暖房の温度設定管理、離席時のパソコンモニター電源OFFの徹底、省エネ機器の導入などに取り組みましたが、前年比で4.87%増加しました。

増加の原因として、製本機械の増設などが上げられます。



■ PDCAサイクル

Plan(計画)・Do(実施・運用)・Check(点検・評価)・Action(見直し)という4つの観点から、スパイラルに継続的改善を図るマネジメントシステム管理の手法。

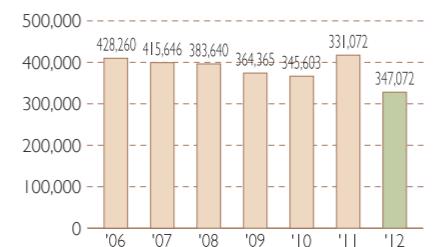
■ コピー用紙使用量の削減

札幌大同印刷は、両面出力や裏面の再利用、PDF校正によるメールの活用、営業日報のデジタル化などの取り組みを継続的に行っています。

コピー用紙の在庫発注ラインを決めるなど在庫管理を徹底し、製本工程時に発生する印刷用紙の断裁紙片の有効利用が大きく影響し、前年比で27.23%削減することが出来ました。



■ コピー用紙使用量 (A4/枚)



■ 印刷予備紙13.00%維持

札幌大同印刷は、事業活動により大量な紙を使用することから、印刷する位置やインキ濃度を合わせるなど、印刷時の試し刷りに使用される印刷予備紙の削減に努めています。

デジタル化(CTP)の推進、損紙の再利用などに取り組みましたが、前年比に対し0.07%の増加。13.00%の目標に対して0.04%増加しました。

増加原因としては、通し枚数の少ない印刷物が多かつたことが上げられます。



■ 捶発性有機化合物 (VOC=Volatile Organic Compounds)の略語

パソコンで作成したデータを、中間工程である製版フィルムに出力せず、直接刷版にて印刷機で使用するPS版に焼き付ける方法。

■ 捶紙

印刷や製本作業中に様々な要因から、製品として使用できなくなった用紙のことで、別名ヤレともいう。

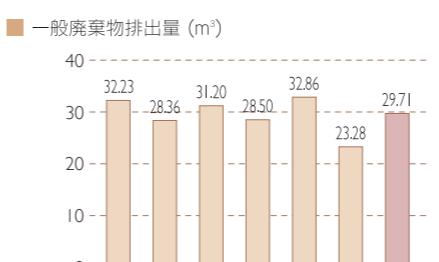
■ ブランケット胴

オフセット印刷機の胴のうち、印刷圧を生むゴムブランケットを巻いた中間胴の事。版胴上の画像は一度このブランケット胴に転写され、さらに紙に再転写されます。

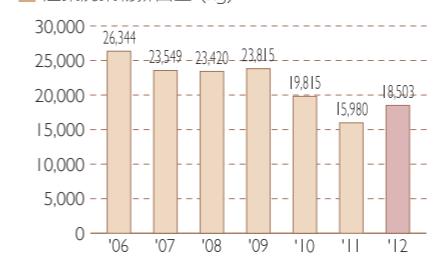
循環型社会形成の推進

■ 廃棄物の削減

廃棄物の適正処分のため、排出から処分まで自主基準期日を設定し、処分終了までの監視をマニフェスト管理票にて管理しています。また、処理委託業者の許可証有効期限も定期的に確認しています。



■ 産業廃棄物排出量 (kg)



■ 低排出ガス基準レベル認定自動車

NOx(窒素酸化物)やPM(粒子状物質)など排出ガス低減に向け、国が定めた自動車の排出ガス基準に對応した低排出ガス車制度の認定を受けた自動車。

■ 握発性有機化合物 (VOC=Volatile Organic Compounds)の略語

印刷機械の洗浄剤に含まれるトルエンなどの物質で、大気中の光化学反応により光化学スマッグを引き起こす原因物質の一つとされています。

■ マニフェスト管理票

産業廃棄物の収集・運搬、中間処理、最終処分などを委託する場合、排出者が委託者に対して適正な処理が行われたことを確認する管理票のこと。

■ プランケット胴

オフセット印刷機の胴のうち、印刷圧を生むゴムプランケットを巻いた中間胴の事。版胴上の画像は一度このプランケット胴に転写され、さらに紙に再転写されます。

■ 5S活動 (整理・整頓・清掃・清潔・躰)

整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字Sを取ったもの。徹底することで無駄な作業や過剰在庫がなくなり、安全で効率的な職場となる。

■ ライフサイクルアセスメント (LCA=Life Cycle Assessment)

その製品に関する資源の採取から製造、輸送、使用、廃棄などすべての段階を通して環境影響を定量的、客観的に評価する手法。

環境コミュニケーション

社会の一市民として地域社会に根ざした活動を応援するとともに、地域社会とのコミュニケーションを大切にしています。

ラブアース・クリーンアップ in 北海道 2012

2012年6月11日、地球の未来を考え自然やかけがえのない地球を愛するために、まず身近な地域を愛することから始めようと考え、誰でも参加できるごみ拾いから行動して行こうという北海道市民ネットワーク様による「ラブアース・クリーンアップ in 北海道 2012」の呼びかけに賛同し、6月の環境月間に合わせて 厚別本社・豊平営業所の各事業所周辺のごみ拾いを実施しました。総勢47名が参加し、燃えるごみやビン・缶・ペットボトルなど総重量約15.7kgのごみを回収しました。



厚別本社



豊平営業所

活かす!省(小)エナライフ

「エネルギーを」「自然の力を」「今あるものを」「みんなの知恵を」活かして、少ないエネルギーでも快適に暮らせる持続可能な社会の実現を目指そうと、NPO法人北海道グリーンファンド様が「活かす!省エナライフ」パンフレット・イベント用パネルを作成。北海道で企業や家庭に対して7%以上の冬の節電対策目標が掲げられる中、本州仕様が中心の省エネルギー情報が多いという現状から、北海道に適した市民目線の情報を発信し続けて行こうという北海道グリーンファンド様の思考に共感し、更なる従業員の節電意識を高めようとパネルを提供していただき、厚別本社にて掲示しています。



「活かす!省エナライフ」パネル展北海道庁ロビーにて



厚別本社にて

さっぽろキャンドルナイト2012

2012年6月31日(木)の夏至の日。「夏至の夜8時から10時まで、電気を消して、スローな夜を過ごそう」「世界に誇れる環境文化都市札幌の実現を目指そう」というさっぽろキャンドルナイト実行委員会の呼びかけに賛同し、「さっぽろキャンドルナイト2012」に参加・協力しました。札幌大同印刷は、お客様や取引先などにキャンドルナイトへの参加を呼びかけ、パンフレットやキャンドルを配布しました。また、自社ホームページ掲載による呼びかけや従業員の残業の抑制やキャンドルの配布による啓発、家庭での実施を呼びかけに取り組みました。お客様や従業員たちが、省エネはもちろんのこと環境に関する様々なことを考え、楽しんで行動する機会となりました。



割り箸リサイクル活動

使い終わった割り箸が、紙の原料に生まれ変わることから、社内での使用済み割り箸を53.5kg回収し、王子エフテックス(株)江別工場様にお渡しいたしました。回収した割り箸はA4コピー用紙約4,500枚に相当します。

第7回 環境科学展

2012年10月27日28日、札幌市青少年科学館特別展示室を会場に、環境問題に日頃から取り組んでいる企業・団体の活動を紹介する第7回環境科学展に参加しました。印刷物が出来るまでの流れに沿って、どの場面で、どのように環境配慮が行われているかをパネル展示。また環境報告書の配布や「どうぶつぬりえ」のダイジェスト版を配布し、子どもたちに自由に動物に色を着けてもらいました。2日間で約6,000人が訪れ大盛況となりました。



環境報告書展

2012年2月11日~14日の間、事業者と社会とを結ぶ環境コミュニケーションの重要なツールである環境報告書などを収集し、広く札幌市民などに公開する場として「環境報告書展」が大通地下街オーロラスクエアで開催され、札幌大同印刷は環境報告書を配布しました。また、「環境報告書展」は札幌市環境プラザに移動し、2012年2月15日~20日の間、「環境活動紹介展」として市民団体やNPOなどの報告書とともに展示配布されました。



札幌市円山動物園応援グッズ

未来を担う子どもたちが、地球のことや動物たちの未来のことを楽しく考えるきっかけづくりとして、ライオンやレッサーパンダなど札幌市円山動物園内にいる動物たちをモデルにした「どうぶつぬりえ」「ZONNOTE」を、札幌市円山動物園公認グッズとして制作販売しています。

札幌大同印刷は、販売した収益金の一部を動物たちの食べ物代として札幌市円山動物園に寄付しています。



どうぶつぬりえ

地域の足 ~エコ通勤から始めよう~

公共交通による「地域の足」確保の重要性が高まる中、各地域の利用者数減少から、サービス低下や路線廃止などの障害によって、マイカー通勤の依存度が上がり、マイカー通勤が進むと公共交通の利便性が低くなるという悪循環を引き起こすこと。マイカー通勤を減らすことで、通勤時に排出される二酸化炭素の抑制にもつながるということから、北海道運輸局様の「地域の足」確保キャンペーンの呼びかけに賛同し、エコ通勤を促すアンケートやパンフレットの配布などの啓発を行いました。

花壇美化活動

本社建物に隣接されている花壇の木の枝を間引いたり、花を植え替えるなどの美化活動を行っています。従業員が家庭から種や苗を持ってたり、近隣の方々との会話のきっかけになったりと、社内外のコミュニケーションにもつながっています。



環境配慮型製品の実績（一例） 環境にやさしい紙やインキ、グリーン電力などの環境配慮を行いました。



さっぽろキャンドルナイト実行委員会 様
「さっぽろキャンドルナイト2012」
ポスター・パンフレット・報告書などの広報物一式



NPO法人北海道グリーンファンド 様
「活かす!省エナライフ!」



札幌市アカシア若者活動センター 様
「Hello Winter! 星空コンサート」「Hello Spring 星空ナイト」



札幌市円山動物園 様
「さっぽろ円山動物園だより」

